

開講期間	配当年	単位数(週時間)	科目必選区分
前・後期	1～2年	2単位(2-0)	選択必修科目(教養教育一般科目)
担当教員			
徳田 博人			
授業形態：講義	ナンバリング：英 SSS121601	ナンバリング：保 SSS111601	
添付ファイル			

授業のテーマ及び到達目標	日本国憲法の基本理念を理解する。 ・憲法とは何か、人権の意義、立憲主義など、基本的な事柄を本質的に理解する。 ・日常生活の中で生じる様々な問題を、憲法的視点から考えることができる。 ・特に、教育における憲法的な問題について、高い意識を持つ。
授業の概要	日本国憲法の基本的事項について全般的に概説する。 憲法の講義は、通常、人権と統治機構の二分野で構成される。本講義は、その両分野について基本的な事柄を中心として講義を進めていく予定であるが、時間が限られているため、少なくとも人権分野については一通りの学習を終えられるようにしたいと考えている。 また、教職必修科目であることを考慮し、憲法と教育との関わりについて、多少深く考えてみたい。
授業計画	<p>第1回 インTRODクシヨン 教科書・プロローグ 教科書・第1章 1 授業の進め方、基本的なスタンスを説明する 2 なぜ、教職課程で憲法が必修となっているのか、修得する 3 みんなで決めてよいことと、いけないこと、考えてみる。 4 個人の尊厳と人権の関係を学習する。 事前準備：教科書の該当箇所1頁—13頁に目を通す(120分) 事後の復習：教科書の該当箇所を再度読む(120分)</p> <p>第2回 教科書・第1章 1人ひとりを最大限尊重するために 1 人権の享有主体について基本的な知識を習得する 2 人権の制限、さらに、違憲審査基準について知識を習得する。 事前準備：教科書の該当箇所13頁—21頁(120分) 事後の復習：レジュメの見直し(120分)</p> <p>第3回 教科書第2章 学校にいる人の権利を考える 1 子どもの権利について基本的な知識を習得する 2 教師の権利・権限について基本的な知識を習得する 3 私人間適用について知識を習得する 事前準備：教科書の該当箇所(教科書第2章)に目を通しておく(120分) 事後の復習：教科書の該当箇所を再度読む(120分)</p> <p>第4回 教科書・第3章 平等を保障するとはどういうことなのか 1 何のために平等は保障されるのか理解を深める 2 憲法が保障する差別の禁止の基本的な知識を習得する 3 差別類型の基本的な知識を習得する 4 差別と教育について理解を深める 事前準備：教科書の該当箇所(教科書第3章)に目を通しておく(120分) 事後の復習：教科書の該当箇所を再度読む(120分)</p> <p>第5回 教科書・第4章 心の自由を考える—思想・良心・信教の自由 1 思想・良心の自由を考える、ことで理解を深める 2 信教の自由を考える、ことで理解を深める 事前準備：教科書の該当箇所(教科書第4章)に目を通しておく(120分) 事後の復習：教科書の該当箇所を再度読む(120分)</p> <p>第6回 教科書・第5章 悪口を言うのも自由なのか—表現の自由 1 何のために表現の自由はあるのか、基本的な知識を習得する 2 表現の自由の限界はどこにあるのか、基本的な知識を習得する 事前準備：教科書の該当箇所(教科書第5章)に目を通しておく(120分) 事後の復習：教科書の該当箇所を再度読む(120分)</p> <p>第7回 教科書・第6章 学問は生活のためのものなのか 1 学問の自由について、基本的な知識を習得する 2 大学の自由について、基本的な知識を習得する 3 教師の教育の自由について、基本的な知識を習得する 事前準備：教科書の該当箇所(教科書第6章)に目を通しておく(120分) 事後の復習：教科書の該当箇所を再度読む(120分)</p> <p>第8回 教科書・第7章 1人ひとりにふさわしい教育を確保するために 1 教育を受ける権利は何のためにあるのか、基本的な知識を習得する 2 義務教育とは誰が何をしなければならないのか、基本的な知識を習得する 事前準備：教科書の該当箇所(教科書第7章)に目を通しておく(120分) 事後の復習：教科書の該当箇所を再度読む(120分)</p>

第9回	<p>教科書・第8章 自由を支える社会権を求めて</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 経済的自由権と社会権の関連性について、基本的な知識を習得する</li> <li>2 生存に関する権利について、基本的な知識を習得する</li> <li>3 労働に関する権利について、基本的な知識を習得する</li> </ol> <p>事前準備：教科書の該当箇所（教科書第8章）に目を通しておく（120分）  事後の復習：教科書の該当箇所を再度読む（120分）</p>
第10回	<p>教科書・第9章 もし警察に捕まってしまったら</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 手続の重要性を理解する</li> <li>2 憲法が保障する重要な権利について、基本的な知識を習得する</li> </ol> <p>事前準備：教科書の該当箇所（教科書第9章）に目を通しておく（120分）  事後の復習：教科書の該当箇所を再度読む（120分）</p>
第11回	<p>教科書・第10章 政治の主役は誰なのか</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 国民主権とは何か、基本的な知識を習得する</li> <li>2 選挙で選ばれる人と選挙の重要な原則について、基本的な知識を習得する</li> <li>3 参政権とは何か、基本的な知識を習得する</li> <li>4 参政権と平等について、理解を深める</li> </ol> <p>事前準備：教科書の該当箇所（教科書第10章）に目を通しておく（120分）  事後の復習：教科書の該当箇所を再度読む（120分）</p>
第12回	<p>教科書・第11章 「全世界の国民」が平和に生きるために</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 なぜ平和主義が憲法の基本原理なのか、理解を深める</li> <li>2 平和主義の内容について、基本的な知識を習得する</li> <li>3 平和主義をめぐる裁判について、基本的な知識を習得する</li> <li>4 平和主義の「理想と現実」について考えてみる</li> </ol> <p>事前準備：教科書の該当箇所（教科書第11章）に目を通しておく（120分）  事後の復習：教科書の該当箇所を再度読む（120分）</p>
第13回	<p>教科書・12章 教育を梓づける国の統治の仕組み</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 教育は法律に基づかなければならないのか、理解を深める</li> <li>2 内閣と行政について、基本的な知識を習得する、</li> <li>3 司法権について、基本的な知識を習得する</li> </ol> <p>事前準備：教科書の該当箇所（教科書第12章）に目を通しておく（120分）  事後の復習：教科書の該当箇所を再度読む（120分）</p>
第14回	<p>教科書・第13章 地方のこと、国のこと、世界を視野に考えること</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 地方自治とは何か、理解を深める</li> <li>2 地方公共団体はどのような役割を果たすのか、基本的な知識を習得する</li> <li>3 地方分権改革について、基本的な知識を習得する</li> <li>4 地方自治と主権者教育について、理解を深める</li> </ol> <p>事前準備：教科書の該当箇所（教科書第13章）に目を通しておく（120分）  事後の復習：教科書の該当箇所を再度読む（120分）</p>
第15回	<p>教科書・第14章 憲法はどこから来たのか</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 憲法とは何か、理解を深める</li> <li>2 立憲の意味の憲法の特質について、理解を深める</li> <li>3 日本憲法史と立憲主義について、基本的な知識を習得する</li> </ol> <p>事前準備：教科書の該当箇所（教科書第14章）に目を通しておく（120分）  事後の復習：教科書の該当箇所を再度読む（120分）</p>
授業における具体的な特色や方法	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) アクティブ・ラーニングを促す取組</li> <li>2) 情報リテラシーに関する科目</li> <li>3) ICTの活用</li> <li>4) 初年次教育</li> <li>5) 実践的PBL</li> </ol>
テキスト	西原博史、斎藤一久（編集）『教職課程のための憲法入門 第3版』（弘文堂、2024年）
参考書	芦辺信喜、高橋和之補訂『憲法第8版』岩波書店（2023）
評価方法	最終レポート、小テスト、出席状況等を総合して評価する予定である。
評価基準	<p>成績評価は100点満点で行い、以下のとおり評定します。</p> <p>秀 (A) 90点以上：到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めている</p> <p>優 (B) 80点～90点未満：到達目標を十分に達成している</p> <p>良 (C) 70点～80点未満：到達目標をある程度達成している</p> <p>可 (D) 60点～70点未満：到達目標を最低限達成している</p> <p>不可 (F) 60点未満：到達目標を達成していない</p> <p>欠 (K) —：出席不足</p>
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	<p>（英語科）</p> <p>【○】1. 建学の精神に基づき、「平和」と「奉仕」を行動の規範として身につけている。</p> <p>【○】2. 多文化・異文化に関する理解と国際的な視野を身につけている。</p> <p>【○】3. 「思考力・判断力・表現力」、「主体性・多様性・協働性」、「知識・技能」をはじめ社会人にふさわしい教養および専門分野の基礎力と批判的思考力を身につけている。</p> <p>【○】4. 英語・日本語による実用的なコミュニケーション能力を身につけている。</p>

	<p>【○】5. 学則に定める修業年限を満たし、卒業に要する所定の単位数を修得した者に対し、短期大学士（英語）の学位を授与する。 （保育科）</p> <p>【○】1. キリスト教精神に基づき、他者と異文化への理解を深め、子どもに仕え、平和でよりよい保育環境を実現するための態度を身につける。</p> <p>【○】2. 保育者としての豊かな感性を身につけ、自らを律し他者との対話を通して、主体的に保育を実践する態度を追求する。</p> <p>【○】3. 幅広い教養教育と専門科目を通して思考力・判断力・表現力を身につける。</p> <p>【○】4. 地域を拠点に、国内外の子どもや保育の課題を解決するために貢献できる。</p> <p>【○】5. 学則に定める修業年限を満たし、卒業に要する所定の単位数を修得した者に対し、短期大学士（保育）の学位を授与する。</p>
履修上の注意	受講希望者は、必ず第1回目の授業に出席してください。
オフィスアワー	授業終了後に随時質問を受け付けます。
課題に対するフィードバック方法	授業内の小テスト等は、自ら教科書等で確認すること。

講義科目名称： 体育一般

授業コード：

英文科目名称： Physical Education

開講期間	配当年	単位数(週時間)	科目必選区分
前期・後期	1年次	2単位 (1-1)	教養教育科目 選択科目
担当教員			
音野 太志			
授業形態：講義・演習	ナンバリング：英PHY1271103/ 保PHY1171103		
添付ファイル			

授業のテーマ及び到達目標	<p>[テーマ] 健康に関する心身の諸問題についてその背景と解決策について理解することができる。 現在の自分のライフスタイルを健康の観点から認識し、今後のよりよいライフスタイルを形成していくための知識と態度を養うことができる。</p> <p>[到達目標] 【知識・理解】健康とは何かを理解できる。健康に生きることの重要性について理解できる 【技能】自分たちを取り囲む健康問題に対して、どの様に対処すれば良いのか、何に気をつければ良いのか理解できる。他者とのより深いコミュニケーションの方法を知ることができる。 【態度】自分自身の人生をより良く生きようとする姿勢を身につける事ができる。</p>
授業の概要	<p>授業は、アクティブラーニングの手法を用いて進めていく。 コミュニケーションスキルを学ぶことで、普段行なっている自分たちのコミュニケーションについて振り返り、より良い人間関係を構築できるようになるためのトレーニングを行う。 前半は、講義毎にテーマを決め、グループに別れてディスカッションを行い、テーマに対する学びを深める。健康問題への解決方法を探り、同学年へ向けた、健康問題改善の為の取り組みをグループ毎に考案し、提案を行う。</p> <p>遠隔講義に関しては、Teamsを使用致します。</p>
授業計画	<p>第1回      コースオリエンテーション：健康とは？ 講義の概要と進め方、評価方法の説明を行い、講義の中でキーワードとなる「健康」について、WHOの定義と現代社会の状況を照らし合わせながら講義を行う。 グループワークを行う為のグループ分けを行う。 【事前学習】健康について考えてくる 2時間 【事後学習】興味のある健康問題に関して注意を向ける 2時間</p> <p>第2回      コミュニケーショントレーニング グループディスカッションを円滑に実施するためのコミュニケーショントレーニングを行う。 同時に、それぞれの人間が持つ価値観の違いについての理解を深める。 【事前学習】自分が興味のあるテーマを考えてくる 2時間 【事後学習】価値観の違いについて考える 2時間</p> <p>第3回      グループワーク① テーマに関して、グループディスカッションを行う。 同時に、発表資料の作成を行う。  【事前学習】グループワークに必要な情報の収集を行う 2時間 【事後学習】各テーマに沿った発表内容を考える 2時間</p> <p>第4回      グループワーク② グループでの調査を継続し、発表資料の仕上げを行う。  【事前学習】発表に必要な情報の収集を行う 2時間 【事後学習】発表資料の作成を行う 2時間</p> <p>第5回      グループワーク③ 発表資料の仕上げを行い、発表の時の役割分担と発表用原稿の作成を行う。  【事前学習】資料作成に必要な準備をする 2時間 【事後学習】発表内容のまとめを行う 2時間</p> <p>第6回      発表 グループ毎に発表を行う。 他グループの発表に対して、評価を行う。（自グループに対しても、振り返りとして自己評価を行う） 発表した内容に関して、補足としての講義を行う。  【事前学習】発表に備える 3時間 【事後学習】自身が行なった発表の振り返りを行う 1時間</p> <p>第7回      発表 グループ毎に発表を行う。 他グループの発表に対して、評価を行う。（自グループに対しても、振り返りとして自己評価を行う） 発表した内容に関して、補足としての講義を行う。  【事前学習】発表に備える 3時間 【事後学習】自身が行なった発表の振り返りを行う 1時間</p> <p>第8回      救急法：応急手当 応急手当の基本を学ぶとともに、身の回りにあるものを活用した応急手当の方法を学ぶ。</p>

また、沖縄の海に生息する注意すべき生き物を知り、もしもの時の対処方法を学ぶ。

事前学習  
応急手当について調べてくる  
沖縄の海に生息する注意すべき生き物について調べてくる。(2時間)

第9回

事後学習  
身の回りにあるものが、どのような応急手当で活用できるか振り返る。(2時間)  
実技：救急法  
救急法の基礎を学び、有事の時の対処方法を身につける。  
感染症拡大防止の観点から実施する救急法を学ぶ。  
乳児に対する救急法の体験を行う。

事前学習  
救急法について調べてくる(2時間)

第10回

事後学習  
講義で学んだ内容を振り返り、知識や技術をしっかりと身につける(2時間)

ニュースポーツ体験：ドッジビー(ガッツ)  
生涯スポーツ体験として、ドッジビーを使用したいいくつかの種目を体験する。  
また、実施した種目がどのような運動になるのか、それぞれが考える心身への効果や利点についての振り返りを行う。

第11回

事前学習  
健康に留意し、運動できる状態で授業にのぞむ(2時間)

事後学習  
ストレッチ等を充分に行い、次の授業に備える(2時間)

ニュースポーツ体験：ドッジビー(アルティメット)  
生涯スポーツ体験として、ドッジビーを使用したアルティメットの体験をする  
また、実施した種目がどのような運動になるのか、それぞれが考える心身への効果や利点についての振り返りを行う。

第12回

事前学習  
健康に留意し、運動できる状態で授業にのぞむ(2時間)

事後学習  
ストレッチ等を充分に行い、次の授業に備える(2時間)

ニュースポーツ体験：ドッジビー(アルティメット：チーム対抗リーグ戦)  
アルティメットのリーグ戦を行う。  
チームで協力してプレーする楽しさを知る。

第13回

事前学習  
健康に留意し、運動できる状態で授業にのぞむ(2時間)

事後学習  
ストレッチ等を充分に行い、次の授業に備える(2時間)

ニュースポーツ体験：インディアカ  
2種目目の生涯スポーツ体験として、インディアカの体験をする。  
実施した種目がどのような運動になるのか、それぞれが考える心身への効果や利点についての振り返りを行う。

第14回

事前学習  
健康に留意し、運動できる状態で授業にのぞむ(2時間)

事後学習  
ストレッチ等を充分に行い、次の授業に備える(2時間)

ニュースポーツ体験：インディアカ(練習ゲーム)  
インディアカのゲームを体験する。  
どのように仲間と協力すれば勝利に繋がるか、ゲームの中で互いに全力を出すことの大切さを感じる。

第15回

事前学習  
健康に留意し、運動できる状態で授業にのぞむ(2時間)

事後学習  
ストレッチ等を充分に行い、次の授業に備える(2時間)

ニュースポーツ体験：インディアカ(チーム対抗リーグ戦)  
インディアカのリーグ戦を行う。  
チームで協力してプレーする楽しさを知る。

第16回

事前学習  
健康に留意し、運動できる状態で授業にのぞむ(2時間)

事後学習  
ストレッチ等を充分に行い、次の授業に備える(2時間)

総括(テスト)  
講義のまとめとしての試験を行う。

事前学習

	<p>テスト対策</p> <p>事後学習 授業全体の振り返り</p>
授業における具体的な特色や方法	<p>1) アクティブ・ラーニングを促す取組 <input type="checkbox"/></p> <p>2) 情報リテラシーに関する科目 <input type="checkbox"/></p> <p>3) ICTの活用 <input type="checkbox"/></p> <p>4) 初年次教育 <input type="checkbox"/></p> <p>5) 実践的PBL <input type="checkbox"/></p>
テキスト	テキストは使用しない。講義ごとに資料を配布する。
参考書	九州大学健康科学センター編 『健康と運動の科学』 大修館書店
評価方法	<p>レポート40点（中間20点、期末20点）、授業への参加度50点、試験10点。</p> <p>遠隔に関しては、講義ごとに課題を課し、課題達成（動画の視聴や、資料の熟読等）によって出席とする。また、レポート等を課した場合は、レポート内容によっても評価を行い、レポート提出によって出席とする場合もある。</p>
評価基準	<p>各評価方法に関してルーブリック評価を行う。詳細は初回講義時に説明する。</p> <p>成績評価は100点満点で行い、以下のとおり評定します。</p> <p>秀 (A) 90点以上：到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めている</p> <p>優 (B) 80点～90点未満：到達目標を十分に達成している</p> <p>良 (C) 70点～80点未満：到達目標をある程度達成している</p> <p>可 (D) 60点～70点未満：到達目標を最低限達成している</p> <p>不可 (F) 60点未満：到達目標を達成していない</p> <p>欠 (K) —：試験欠席・レポート未提出・出席不足</p>
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	<p><input type="checkbox"/> 1. 建学の精神に基づき、「平和」と「奉仕」を行動の規範として身につけている。</p> <p><input type="checkbox"/> 2. 多文化・異文化に関する理解と国際的な視野を身につけている。</p> <p><input type="checkbox"/> 3. 「思考力・判断力・表現力」、「主体性・多様性・協働性」、「知識・技能」をはじめ社会人にふさわしい教養および専門分野の基礎力と批判的思考力を身につけている。</p> <p><input type="checkbox"/> 4. 英語・日本語による実用的なコミュニケーション能力を身につけている。</p> <p><input type="checkbox"/> 5. 学則に定める修業年限を満たし、卒業に要する所定の単位数を修得した者に対し、短期大学士（英語）の学位を授与する。</p>
履修上の注意	予習、復習を行い、講義に参加すること。
オフィスアワー	<p>授業終了後に質問を受け付ける。</p> <p>otono.ocjc@gmail.comでも可能。</p>
課題に対するフィードバック方法	発表に対して、発表後に補足の講義を行う。

開講期間	配当年	単位数(週時間)	科目必選区分
後期	1年	2単位 (0-2)	選択必修科目 (教養教育外国語系)
担当教員			
中根 佳			
授業形態：演習	ナンバリング：FLS119111		
添付ファイル			

授業のテーマ及び到達目標	<p>【授業のテーマ】 外国人の子どもを受け入れるにあたり、保育者に求められているのは何かを考える</p> <p>【到達目標】 &lt;知識・理解の観点&gt; ・保育現場で必要とされる基本的な英語コミュニケーションを身につける。 ・異文化や多様性にふれ、理解や受容を深める。</p> <p>&lt;技能の観点&gt; ・基本的なコミュニケーションを英語で行うことができる。</p> <p>&lt;態度の観点&gt; ・考え方の違いを尊重することができる。</p>
授業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書の内容に沿ったペアでの会話練習、グループワークや講義を通してコミュニケーション能力を向上させ、自信をつける。</li> <li>・日本語でのコミュニケーションを図ることが難しい子ども達や家庭が存在するという事について理解し、英語を使っての保育の基本を習得する。</li> <li>・日本の文化に馴染みのない家庭に安心して園行事に参加してもらうには、外国人保護者にどのような働きかけを行うべきかを考える。</li> </ul>
授業計画	<p>第1回 The Introduction to Childcare English (イントロダクション) 外国人の子どもや保護者とのコミュニケーションは、保育の現場での大切な日常業務の1つとなっていることを知り、保育者に求められる保育英語の重要性について考えます。また、シラバスを通して、授業がどのように進められていくのかを理解します。</p> <p>【事前学習】2時間 第1回の授業で気後れすることのないよう、教科書は必ず授業初日までに入手し、その内容を確認する。 【事後学習】2時間 シラバスの内容を再確認し、授業がどのように進められていくのか、授業で求められている学びの姿勢はどういったものかを理解する。</p> <p>第2回 Learn common Childcare English vocabulary① (保育園や幼稚園でよく使われる英語の語彙を学習する①) 教室、園庭や多目的広場といった園の施設を表す言葉、また園長先生や担任、調理師など園で働く人を表す言葉を学びます。</p> <p>【事前学習】2時間 授業で取り組む会話に目を通し、分からない単語や表現を調べる。 【事後学習】2時間 授業で取り組んだ会話を復習後、課題に取り組む。</p> <p>第3回 Learn common Childcare English vocabulary② (保育園や幼稚園でよく使われる英語の語彙を学習する②) 手洗い場や棚、そして絵本やおままごとセットなど、保育室の設備や教具などについての表現を学びます。また、簡単な疑問文とその答え方を練習します。</p> <p>【事前学習】2時間 授業で取り組む会話に目を通し、分からない単語や表現を調べる。 【事後学習】2時間 授業で取り組んだ会話を復習後、課題に取り組む。</p> <p>第4回 Time and Numbers, School required supplies (時間と数字の表現、保護者に用意してもらう用品の語彙を学習する) 数字や時間の表現方法を学びます。また、保護者に用意してもらう「うわばき」や「お着替え」、「お布団セット」など保育園や幼稚園でよく使われる語彙の英語での表現について学習します。</p> <p>【事前学習】2時間 授業で取り組む会話に目を通し、分からない単語や表現を調べる。 【事後学習】2時間 授業で取り組んだ会話を復習後、課題に取り組む。</p> <p>第5回 Inquire for the way (街の施設について学び、道案内をする) お散歩で目にするスーパーや公園、そして消防署など、街にある様々な場所の名称を覚え、前置詞を使って場所や道順を説明する表現を学びます。</p> <p>【事前学習】2時間 授業で取り組む会話に目を通し、分からない単語や表現を調べる。 【事後学習】2時間 授業で取り組んだ会話を復習後、課題に取り組む。</p> <p>第6回 Children on the Playground (園庭の環境について、そして子どもたちの遊びについて学ぶ) おにごっこやおままごとといった子どもの遊びと、その動作を表す表現を学びます。また、園庭の砂場やすべり台などの遊具とその遊び方についての表現を学びます。</p> <p>【事前学習】2時間 授業で取り組む会話に目を通し、分からない単語や表現を調べる。 【事後学習】2時間 授業で取り組んだ会話を復習後、課題に取り組む。</p> <p>第7回 中間まとめ これまで学んだことを復習し、実際に活用できるかをチェックする機会とする。</p>

第8回	<p>【事前学習】 2時間 これまで学んだことのまとめをする。 【事後学習】 2時間 理解が足りないと感じるパートの復習をする。</p> <p>Toilet Dialogue and Fight (昼食風景、子供の排泄に関する表現を学ぶ) 排泄に関する表現や英文での連絡帳でのやりとりや、けんかや物の取り合いをしている子どもたちへの保育者としてのさまざまな言葉がけの表現を学びます。</p>
第9回	<p>【事前学習】 2時間 授業で取り組む会話に目を通し、分からない単語や表現を調べる。 【事後学習】 2時間 授業で取り組んだ会話を復習後、課題に取り組む。</p> <p>Face and body, and Physical condition (体の部位についての語彙と、病気についての表現方法を学ぶ)</p> <p>体の部位に関する語彙を学び、英語で表現します。元気がなかった、吐き気があった、などの体調を現在完了形を用いて保護者に伝える場面について学びます。また、かすり傷や打撲などのけがや病気についての表現も学びます。</p>
第10回	<p>【事前学習】 2時間 授業で取り組む会話に目を通し、分からない単語や表現を調べる。 【事後学習】 2時間 授業で取り組んだ会話を復習後、課題に取り組む。</p> <p>Jobs at Nursery School (保育者の園での一日の仕事の流れを英語で学ぶ) 保育者の一日の仕事について英語で学びます。Kid' s classとToddler' s classとの一日の流れの違いについても確認します。</p>
第11回	<p>【事前学習】 2時間 授業で取り組む会話に目を通し、分からない単語や表現を調べる。 【事後学習】 2時間 授業で取り組んだ会話を復習後、課題に取り組む。</p> <p>Japanese recipes in English (給食のメニューの英語表現を学ぶ) 肉じゃがや胡麻和えなど、給食に出される日本食のメニューを英語で学びます。また、好き嫌いに関する表現方法を学び練習します。</p>
第12回	<p>【事前学習】 2時間 授業で取り組む会話に目を通し、分からない単語や表現を調べる。 【事後学習】 2時間 授業で取り組んだ会話を復習後、課題に取り組む。</p> <p>Annual School Calender (年中行事の表現と、連絡帳や園からのお知らせについて学ぶ) 入学式、七夕まつり、運動会などの園行事の英語表現について学びます。また、園からのお知らせの書き方、連絡帳の書き方について学びます。</p>
第13回	<p>【事前学習】 2時間 授業で取り組む会話に目を通し、分からない単語や表現を調べる。 【事後学習】 2時間 授業で取り組んだ会話を復習後、課題に取り組む。</p> <p>Childcare Equipment (教室にある備品や子どもの発達についての英語表現を学ぶ) おむつや哺乳瓶など、乳幼児のための用品について学びます。また、寝返りをうつ、ハイハイするなどの発達に合わせて出てくる乳幼児の動きについての表現を学びます。</p>
第14回	<p>【事前学習】 2時間 授業で取り組む会話に目を通し、分からない単語や表現を調べる。 【事後学習】 2時間 授業で取り組んだ会話を復習後、課題に取り組む。</p> <p>Memorial day and Family tree (記念日と家族について英語の語彙を学習する) 記念日についての表現について学びます。また、お父さんやお母さん、おじいちゃんやおばあちゃんといった、家族についての語彙を学びます。</p>
第15回	<p>【事前学習】 2時間 授業で取り組む会話に目を通し、分からない単語や表現を調べる。 【事後学習】 2時間 授業で取り組んだ会話を復習後、課題に取り組む。</p> <p>Travel abroad and Medical Vocabularies (海外渡航に備える) 旅行や海外研修などで使える英語表現や語彙について学びます。</p>
第16回	<p>【事前学習】 2時間 授業で取り組む会話に目を通し、分からない単語や表現を調べる。 【事後学習】 2時間 授業で取り組んだ会話を復習後、課題に取り組む。</p> <p>期末テスト (グループ発表) これまでグループで調べてきた内容を発表する。</p> <p>【事前学習】 2時間 グループ発表の準備・練習をする。 【事後学習】 2時間 これまでの授業でカバーした内容を振り返り、苦手な箇所は復習を行い、理解度を高める。</p>
授業における具体的な特色や方法	<p>1) アクティブ・ラーニングを促す取組 <input type="checkbox"/></p> <p>2) 情報リテラシーに関する科目 <input type="checkbox"/></p> <p>3) ICTの活用 <input type="checkbox"/></p> <p>4) 初年次教育 <input type="checkbox"/></p> <p>5) 実践的PBL <input type="checkbox"/></p>
テキスト	保育の英会話 -Childcare English- 第2版, 赤松直子・久富陽子著, 萌文書林, 2011.
参考書	特になし
評価方法	・授業への参加度 (10%)、小テスト(10%)、課題 (40%)、グループ課題 (40%) を総合的に評価します。
評価基準	成績評価は100点満点で行い、以下のとおり評定します。 秀 (A) 90点以上：到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めている 優 (B) 80点～90点未満：到達目標を十分に達成している 良 (C) 70点～80点未満：到達目標をある程度達成している 可 (D) 60点～70点未満：到達目標を最低限達成している 不可 (F) 60点未満：到達目標を達成していない 欠 (K) - : 出席不足

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	<p>【○】1. キリスト教精神に基づき、他者と異文化への理解を深め、子どもに仕え、平和でよりよい保育環境を実現するための態度を身につける。</p> <p>【○】2. 保育者としての豊かな感性を身につけ、自らを律し他者との対話を通して、主体的に保育を実践する態度を追求する。</p> <p>【○】3. 幅広い教養教育と専門科目を通して思考力・判断力・表現力を身につける。</p> <p>【○】4. 地域を拠点に、国内外の子どもや保育の課題を解決するために貢献できる。</p> <p>【○】5. 学則に定める修業年限を満たし、卒業に要する所定の単位数を修得した者に対し、短期大学士（保育）の学位を授与する。</p>
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアやグループでの発表には積極的に取り組んでください。</li> <li>・正当な理由以外での欠席は認められません。欠席届は、その理由が「公欠」にあたる場合にのみ提出してください。出席状況については各自で管理・確認してください。</li> <li>・毎回の授業で課題を出します。課題はすべて「持ち帰りのテスト」と位置づけられており、その内容は次回の授業で解答し評価を出します。各自、責任を持って課題をこなす時間を確保してください。</li> <li>・教科書の内容に沿った小テストを予定しています。小テストを行う際には必ず事前にお知らせします。小テストの追試は行いませんので、自身の体調管理はしっかりと行い、理由のない欠席はしないようにしてください。</li> <li>・辞書機能を使用する目的でのスマートフォンの使用は許可します。分からない単語等があれば自分で調べ、積極的に授業に参加してください。</li> <li>・授業とは関係のない用途で携帯を使用している、居眠りをしている等、授業不参加の態度が続く場合は欠席扱いとします。</li> <li>・授業連絡はTeamsを使用しますので、必ず確認してください。</li> </ul>
オフィスアワー	質問等は、授業終了後に教室で受け付けます。
課題に対するフィードバック方法	課題やまとめテストは授業内で採点し、授業終了後、もしくは次回の授業で返却。

開講期間	配当年	単位数(週時間)	科目必選区分
前期	1年	2単位(0-2)	必修科目 (教養教育)
担当教員			
内間 清晴			
授業形態：演習	ナンバリング：ITL111301		
添付ファイル			

授業のテーマ及び到達目標	<p>PCの基礎的操作方法を習得させる。具体的にはワープロによる文章の作成、表計算ソフトによる数値情報の分析方法等が実践的に修得できる。</p> <p>(1) 基本的な情報倫理が理解でき、情報化社会へ倫理感を持って参加できる。(態度)</p> <p>(2) 電子メールの送受信・転送設定等ができる。(技術・表現)</p> <p>(3) 150字以上/1分間のタイピング能力を身につけることができる。(技術・表現)</p> <p>(4) インターネットを活用し、基礎的な情報収集ができる。(知識・理解)</p> <p>(5) ワープロによる文章の作成ができる。(知識・理解)</p> <p>(6) 表計算ソフトによる数値情報の分析ができる。(知識・理解)</p>
授業の概要	<p>① 本授業では、ワープロソフト、表計算ソフトに実際に触れながら、各ソフトウェアの操作方法を修得する。授業内容は、文書の作成、基本的なデータの集計などを行う実技形式での授業となる。ソフトウェアとしては、Microsoft社のワープロソフトであるWord、表計算ソフトであるExcelを使用する。</p> <p>② 早くて確実な文字入力ができるように。毎授業の最初の10分間はタイピングソフトを使用し、タイピングの練習を行う。(トータルで3時間以上のタイピング練習を行い、1分間で150文字以上の入力速度を目標に取り組んで下さい。)</p> <p>* 毎回の演習内容を復習し次回の演習の予習を行う。(15回分の講義内容はTeamsを通して配布いたします。)</p> <p>* 各講義の初めに、プロジェクターを使用し、講義内容の説明を行う。</p> <p>* 講義時において、教師と学生の双方向(1対1)にコミュニケーションができるコールシステムを使用し、学生の質問に答える。</p>
授業計画	<p>第1回 オリエンテーション：①使用登録・パスワードの設定 ②電子メールの設定 ③Windowsの基本操作 ④タイピング</p> <p>① PC(パーソナルコンピュータ)へのログイン、パスワードの設定方法、電子メールの使用の方法、PCのOS(オペレーティングシステム)であるWindowsの基本操作、WordやExcel等のソフトウェア、デスクトップ、プリンター等のハードウェア、インターネットでの検索方法を学ぶ。</p> <p>② 文字入力が早く確実に行えるようになるために、毎回の演習の最初の10分間はミカタイプソフトを使用しタイピングの練習を行う。</p> <p>【事前学習】授業で指示された次回授業の例題を行う。(2時間)</p> <p>【事後学習】授業で学んだ演習内容を復習し、与えられた課題を行う。(2時間)</p> <p>第2回 パソコンの概念及びWord2019：①OSの種類 ②ソフトウェアとハードウェア ③フォルダの作成 ④基本的な情報倫理 ⑤基本的な文書作成</p> <p>① 文字入力が早く確実に行えるようになるために、毎回の演習の最初の10分間はミカタイプソフトを使用しタイピングの練習を行う。</p> <p>② WindowsやMac(マッキントッシュ)等のOS(オペレーティングシステム)の種類、WordやExcel等のソフトウェア、デスクトップやプリンター等のハードウェアについて学ぶ。</p> <p>③ 情報が氾濫する現代社会における基本的な情報倫理について学習する。</p> <p>④ Word2019を起動させ、文書入力の一連の基本操作を学習する。</p> <p>⑤ 文書を作成し、学生各自のUSB内に作成したフォルダへの保存方法を学習する。</p> <p>【事前学習】授業で指示された次回授業の例題を行う。(2時間)</p> <p>【事後学習】授業で学んだ演習内容を復習し、与えられた課題を行う。(2時間)</p> <p>第3回 Word2019：①Wordの基本操作 ②文章の作成および保存(USBメモリー等) ③文字のデザイン</p> <p>① 文字入力が早く確実に行えるようになるために、毎回の演習の最初の10分間はミカタイプソフトを使用しタイピングの練習を行う。</p> <p>② Word2019を起動させ、ページレイアウトを設定し文書を作成する。作成した文書のいろいろな保存方法およびファイルの種類を表す拡張子について学習する。</p> <p>③ 入力した文書を見やすくデザインする方法を学ぶ。</p> <p>④ フォントデザインや行揃え行間設定等のスタイル変更方法を学ぶ。</p> <p>【事前学習】授業で指示された次回授業の例題を行う。(2時間)</p> <p>【事後学習】授業で学んだ演習内容を復習し、与えられた課題を行う。(2時間)</p> <p>第4回 Word2019：Smart Artによるデザイン</p> <p>① 文字入力が早く確実に行えるようになるために、毎回の演習の最初の10分間はミカタイプソフトを使用しタイピングの練習を行う。</p> <p>② SmartArtによるデザイン方法を学習する。</p> <p>③ SmartArtを使用してテキストの表現力を高め方法や色やスタイルについて学習する。</p> <p>【事前学習】授業で指示された次回授業の例題を行う。(2時間)</p>

【事後学習】授業で学んだ演習内容を復習し、与えられた課題を行う。(2時間)

第5回

Word2019：テキストボックスのデザイン・レイアウト，ビジュアル要素の設定（チラシ作成・ポスター作成）

- ① 文字入力が早く確実にできるようになるために、毎回の演習の最初の10分間はミカタイプソフトを使用しタイピングの練習を行う。
- ② テキストボックスをデザインレイアウトする方法を学習する。  
可能性の高いデザインを使用する方法を学習する。
- ④ テキストボックスでのレイアウト、均等割付け、割注等の設定、図形の挿入、テキストボックスのスタイル変更およびモニターの画像の文書内貼付け等について学習しポスターを作成する。

【事前学習】授業で指示された次回授業の例題を行う。(2時間)

【事後学習】授業で学んだ演習内容を復習し、与えられた課題を行う。(2時間)

第6回

Word2019：段組み

- ① 文字入力が早く確実にできるようになるために、毎回の演習の最初の10分間はミカタイプソフトを使用しタイピングの練習を行う。
- ② 段組みを設定する方法について学習する。
- ③ 入力した文書の段組みについて学習する。

【事前学習】授業で指示された次回授業の例題を行う。(2時間)

【事後学習】授業で学んだ演習内容を復習し、与えられた課題を行う。(2時間)

第7回

Word2019：縦書きレイアウト

- ① 文字入力 that 早く確実にできるようになるために、毎回の演習の最初の10分間はミカタイプソフトを使用しタイピングの練習を行う。
- ② 入力した文書の段組み、ヘッダー・フッターの設定、縦書き2段組みレイアウトについて学習する。

【事前学習】授業で指示された次回授業の例題を行う。(2時間)

【事後学習】授業で学んだ演習内容を復習し、与えられた課題を行う。(2時間)

第8回

Word2019：表の作成および編集

- ① 文字入力 that 早く確実にできるようになるために、毎回の演習の最初の10分間はミカタイプソフトを使用しタイピングの練習を行う。
- ② 表を作成し、行と列の挿入およびセルの分割・結合、表のテキストボックス化等の表の編集方法について学習する。

【事前学習】授業で指示された次回授業の例題を行う。(2時間)

【事後学習】授業で学んだ演習内容を復習し、与えられた課題を行う。(2時間)

第9回

Word2019：ハガキのデザインおよび名刺の作成

- ① 文字入力 that 早く確実にできるようになるために、毎回の演習の最初の10分間はミカタイプソフトを使用しタイピングの練習を行う。
- ② ページをハガキや名刺サイズに設定し、挨拶文の自動入力の方法や名刺ラベル作成方法を学習し学生各自の名刺を作成する。

【事前学習】授業で指示された次回授業の例題を行う。(2時間)

【事後学習】授業で学んだ演習内容を復習し、与えられた課題を行う。(2時間)

第10回

Excel2019：Excelの基本操作およびデータ入力

- ① 文字入力 that 早く確実にできるようになるために、毎回の演習の最初の10分間はミカタイプソフトを使用しタイピングの練習を行う。
- ② Excel2016を起動し、画面の名称と機能について学び、実際にデータを入力し、セル幅・高さの変更および数値の表示形式の変更等について学習する。

【事前学習】授業で指示された次回授業の例題を行う。(2時間)

【事後学習】授業で学んだ演習内容を復習し、与えられた課題を行う。(2時間)

第11回

Excel2019：計算式および関数設定

- ① 文字入力 that 早く確実にできるようになるために、毎回の演習の最初の10分間はミカタイプソフトを使用しタイピングの練習を行う。
- ② 計算式（数式）の入力方法、計算式のコピーおよび関数設定方法を学び、関数を使用してのワークシート内の計算方法（合計、平均、最大値および最小値）を学習する。

【事前学習】授業で指示された次回授業の例題を行う。(2時間)

【事後学習】授業で学んだ演習内容を復習し、与えられた課題を行う。(2時間)

第12回

Excel2019：データの条件設定

- ① 文字入力 that 早く確実にできるようになるために、毎回の演習の最初の10分間はミカタイプソフトを使用しタイピングの練習を行う。
- ② データに条件を設定し判断や判別をさせる方法について学習する。

【事前学習】授業で指示された次回授業の例題を行う。(2時間)

【事後学習】授業で学んだ演習内容を復習し、与えられた課題を行う。(2時間)

第13回

Excel2019：集計表およびグラフ作成

- ① 文字入力 that 早く確実にできるようになるために、毎回の演習の最初の10分間はミカタイプソフトを使用しタイピングの練習を行う。

	<p>② セルにデータを入力し、合計と平均等の同時設定や絶対参照の設定方法について学び、入力したデータから棒・円グラフ等の作成方法を学習する。</p> <p>【事前学習】 授業で指示された次回授業の例題を行う。(2時間) 【事後学習】 授業で学んだ演習内容を復習し、与えられた課題を行う。(2時間)</p> <p>第14回 Excel2019：データベースの構造 ① 文字入力が入りやすく確実にできるようになるために、毎回の演習の最初の10分間はミカタイプソフトを使用しタイピングの練習を行う。 ② データベースの構造について学び、データベースの並べ替え、データの検索および抽出方法を学習する。</p> <p>【事前学習】 授業で指示された次回授業の例題を行う。(2時間) 【事後学習】 授業で学んだ演習内容を復習し、与えられた課題を行う。(2時間)</p> <p>第15回 Excel2019：IF関数の条件設定 ① 文字入力が入りやすく確実にできるようになるために、毎回の演習の最初の10分間はミカタイプソフトを使用しタイピングの練習を行う。 ② IF関数を使ったデータベースの管理方法を学習する。</p> <p>【事後学習】 授業で学んだ演習内容を復習し、与えられた課題を行う。(2時間)</p> <p>第16回 なし</p>
授業における具体的な特色や方法	<p>1) アクティブ・ラーニングを促す取組 <input type="checkbox"/></p> <p>2) 情報リテラシーに関する科目 <input type="checkbox"/></p> <p>3) ICTの活用 <input type="checkbox"/></p> <p>4) 初年次教育 <input type="checkbox"/></p> <p>5) 実践的PBL <input type="checkbox"/></p>
テキスト	定平誠『例題50+演習問題100でしっかり学ぶWord/Excel/PowerPoint標準テキスト(Windows10対応 office 2019対応版) 2019年 技術評論社
参考書	よくわかるWordデータ, よくわかるExcelデータ
評価方法	課題/タイピング能力・・・90点 授業への参加意欲・・・10点
評価基準	<p>各評価方法に関してルーブリック評価を行う。詳細は初回講義時に説明する。</p> <p>※遠隔授業の場合、評価方法を変更するため、ルーブリックについても変更あり。詳細は講義内で説明。</p> <p>成績評価は100点満点で行い、以下のとおり評定します。</p> <p>秀 (A) 90点以上：到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めている</p> <p>優 (B) 80点～90点未満：到達目標を十分に達成している</p> <p>良 (C) 70点～80点未満：到達目標をある程度達成している</p> <p>可 (D) 60点～70点未満：到達目標を最低限達成している</p> <p>不可 (F) 60点未満：到達目標を達成していない</p> <p>欠 (K) - :出席不足</p>
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	<p>(保育科)</p> <p><input type="checkbox"/> 1. キリスト教精神に基づき、他者と異文化への理解を深め、子どもに仕え、平和でよりよい保育環境を実現するための態度を身につける。</p> <p><input type="checkbox"/> 2. 保育者としての豊かな感性を身につけ、自らを律し他者との対話を通して、主体的に保育を実践する態度を追求する。</p> <p><input type="checkbox"/> 3. 幅広い教養教育と専門科目を通して思考力・判断力・表現力を身につける。</p> <p><input type="checkbox"/> 4. 地域を拠点に、国内外の子どもや保育の課題を解決するために貢献できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 5. 学則に定める修業年限を満たし、卒業に要する所定の単位数を修得した者に対し、短期大学士(保育)の学位を授与する。</p>
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各自USBメモリーを準備すること</li> <li>・演習の授業です。受け身にならず、積極的に課題に取り組んで下さい。</li> <li>・毎回の演習内容を復習し次回の演習の予習を行う。</li> <li>・授業態度が悪い場合には程度の応じて減点します。</li> </ul>
オフィスアワー	火曜日 (14:50-16:10) 内間研究室 上記の時間以外でも対応可能(事前予約必要)
課題に対するフィードバック方法	提出された課題は担当教員がチェックし、提出した課題の内容が不十分な場合には、改善点等を説明し再提出してもらいます。